

# もいのにぎわい通信

## 2016年6月26日 定例活動報告

日時：2016年6月26日（日）9：00～15：00

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温 23～29℃ 湿度 47% 風向 西 風速 4m

参加者：22人：子ども7人、大人15（内土地改良区5人）

### ■活動

9：00 草刈り作業開始

9：45 受付・・・ガムテープに名前を書く（名札）

10：00 集合・・・北澤先生紹介

10：15 観察会準備・・・水槽、トレー、網、救急セット

10：30 観察会開始（谷津田、水辺の観察会）サポート：和田さん、長菅さん

11：15 休憩

11：30 観察会再開

12：00 昼食（そら豆の冷製スープ）

13：00 観察会開始（森の観察会）サポート：和田さん、長菅さん

14：00 観察会終了

畑の手入れ

14：30 後片づけ

15：00 解散

### ■活動報告

5月のグリーンウエーブから1月しか経っていないのに雑草の伸び様はすさまじいものです。植物にはたっぷりの太陽と水という極楽の成長時期なのかもしれませんが、こんなにも成長するのかと感嘆するのみです。私が9時半に到着した時には、もう土地改良区の方々は東側の斜面と駐車場の草刈りにかかっていました。橋本さんの自走式刈払機も活躍していました。土曜の予定日が雨で一日ずれてしまったこともあり改良区の方々も5名と少なめです。

緑の環・協議会は東京ガスの支援金で新しく刈払機5台と電動高枝チェンソー2台を購入し、今日が初披露です。まず、東京ガスからの援助で買っていること、緑の環の所有物であることを示すテプラのテープを貼り付けて、ようやく試運転です。星野、金井、窪田の3名しかプレイヤーがいないので、とっかえひっかえの運転を行いました。高枝チェンソーは少々重いですが、いよいよ枝落としが必要な時期に入ってきた松などでこれから活躍が期待されます。それから、立ち作業用草刈りハサミ1台も購入しました。苗木のすぐ近くまで綺麗にしようとする苗木まで伐ってしまう失敗がけっこう起こりますのでこれも有効な道具になりそうに思えます。道具は立派にそろったのですがプレイヤーが3名で

はどうにもなりません。5月に一通り刈払機をかけて整備したのに、今回も道を通しただけで一日が終わってしまいました。

それでもこれからのことを考えると道の意義は大きくて、この場内を一周できる道によって縁辺の草が高くなってしまったエリアにも、中央の栄養不足のエリアにもアクセスが容易なわけです。次の課題となっている千の苗の移植の調査のためにも重要な一歩でもあるわけです。

なお関東の水不足が心配される今年の夏ですが、来年以降に備えるべく井戸掘りの下調査を行っています。先日ある業者さんとお話しした感触では、手漕ぎのポンプまで含めて60万くらいでできそうなことも言っていました。子供たちが手漕ぎポンプを順番待ちしてキコキコやっている姿を想像するとほほえましく思えます。何とか実現したいですね。

(記録：金井章男)

.....

## ■森もりあそび隊

### 小さな生き物観察（谷津田）午前

朝から日差しが強く、熱中症対策としていつでも日陰で休憩できるようにタープテントを森もりあそび隊親子で設置しました。二台あるタープテントのうち一台は骨組みが壊れていましたが屋根部分（タープ）と足の部分をうまく利用して大人と子どもの知恵を出し合ってなんとかもう一台と接続して張ることができました。屋根が安定するように支柱を二本うまくつなげて屋根の中央の支えにした今回2回目の参加のパパはナイスアイデアでした。

観察会は千葉県環境学習アドバイザーの北澤先生が講師としてはるばる東京の国立からきてくださいました。子ども達は虫かごと網を手に観察しながら谷津田の方に下りていきました。最初に虫かごに入ったものは・・・今年かえったばかりと思われる小さめのアマガエルでした。つぎに小さめの茶色いニホンアカガエル。つぎつぎと虫かごにはカエルが入れられていきました。

下の田んぼは今年は稲は育てられてはいない休耕田ではありましたが水がたまっているいろいろな生き物を発見することができました。まわりにはトンボが飛び交い子ども達に人気があったのは目が黒くて体が濃い青色のオオシオカラトンボでした。他に捕まえたのは、ノシメトンボとアキアカネ、シオカラトンボでした。田んぼの水の中には大きなタニシ、ホタルのエサになる貝のカワニナ、おおきなオタマジャクシ。捕まえることはできなかったけど二匹メダカを確認することができました。谷津田で森に囲まれているせいか日陰が多い中での活動でしたが生き物を夢中で探したせいか給水タイムでの冷えひえの飲み物は最高でした。

### 小さな生き物観察（広場）午後

昼食の後ビニールハウスの周りの草むらでバッタ捕獲大作戦をしました。方法は草むらになっていないところにゴザを敷いて草むらの方から人がゴザの方に虫たちを追いやるというもの。

6月のせいかまだ小さい虫ばかりでしたが普通に草むらの中で探すよりも多くの種類のバッタやコオロギを発見することができました。虫かごはあつというまにバッタだらけになりました。

ショウリョウバッタ、トノサマバッタ、ヒシバッタの仲間、ツユムシの仲間、コオロギの仲間など羽化前の羽のないバッタがほとんどでバッタの幼稚園ってかんじ。秋には羽化して倍ぐらいの大きさになってるかな～

谷津田で楽しかったのか広場でもトンボを捕まえるのは大人気・・・広場はノシメトンボがたくさん飛んでいました。北澤先生は植物が専門とのことでいくつか植物の話がありました。スイバ・・・別名ギシギシの葉っぱは、かじると酸っぱくてこれで10円玉を磨くと酸でピカピカになるとのこと。実際にやってみると・・・ピカピカ。広場で捕獲したシジミチョウの仲間のベニシジミの幼虫は酸っぱい味が好きでギシギシの葉を好んで食べるとのこと。あいてる穴を上に向けて緩くグーにした手の上にクズの葉をのせて反対の手のひらでたたくとぼんと高い音のでるクズ鉄砲。広場はくずの葉だらけなのでやりたい放題でした。子ども達はそのあとも元気いっぱいでお観察会が終わった後も北澤先生が子ども時代に“こおり鬼”で遊んだことがないことにびっくりして、先生をまきこんでこおり鬼がスタート。子ども達から大人気の北澤先生、ありがとうございました。

(記録：和田みさ子)

.....

■ お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、7月23日(土)(雨天時7月24日(日))に行います。

除草作業・畑の草取り・バーベキュー、星の観察、ヘイケボタルの観察を行いますのでよろしくお願いいたします。



解散前の集合写真



苗木に覆いかぶさるクズの蔓



伸び放題の草との闘い



電動高枝チェーンソー



新しい刈払機は作業が捗ります。



刈払機 5 台、電動高枝チェーンソー 2 台



北澤先生の観察会スタート



虫かごと虫網を各自持ってからの移動



谷津田の方に移動



たくさんの種類のトンボを捕獲しました



田んぼの中の水生生物もいろいろ



トンボがたくさんとんでいました



タープテントで休憩



昼ごはんのあとは広場での観察



ござの上にバッタを追い込んで簡単に捕獲





トンボちゃんと持てるかな？



いろんな種類のバッタが捕獲できました



この中に4種類のトンボがいます



二ホンアカガエル



オタマジャクシとヤゴ



この時期に群生するオカトラノオの白い花



ひっそりと咲くホタルブクロ



おいしそうなきのこを発見



ギシギシで10円玉を磨くとピカピカ





たぶん蜘蛛の子供か脱皮したばかりか理由は不明だが白いヤツ  
蟻がそれを引っ張っていかようとしているが抵抗されて苦勞しているようだ